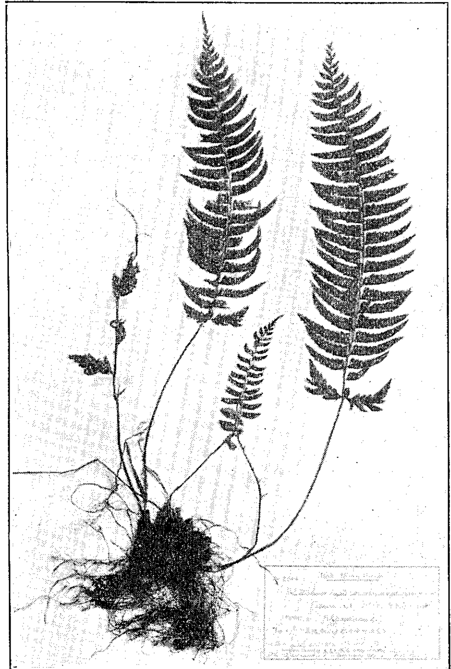
山ノモノデ花穗ノ鱗片ガ茶褐色ノ一品＝ *Carex flavocuspis* var. *iwatensis* (Journ. Fac. Sci. Hokkaido Imp. Univ. Ser. V. 2 p, 123) トイフ名ヲツケタガ京都帝大所藏ノ標本ヲ見セテ戴イタ所正シク *C. flavocuspis* var. *platycarpa* KÜKENTHAL デアルコトヲ知リ得、コヽニ不明ヲ謝ス。只原記載ガ簡單過ギテ分ラナカツタノデアル。尙同品ハ須藤千春氏ガ北海道大雪山デ採集シテヰル。

ひとつばじふもんじしだヲ出雲ニ採ル

林　　實

Minoru HAYASHI: *Polystichum tripteron* var. *simplicissimum* TAGAWA in Prov. Izumo

昭和八年十二月二十八日冷イ雨ノ中ヲ來待停車場ヨリ岩屋寺（島根縣八束郡來待村大字上來待字佐倉岩屋寺）＝向ツタ。同地＝ハ高サ 7m. バカリノ瀧ガアリ、附近ハ砂岩ヨリ成リ一帶＝濕潤デアツテ樹木ノ繁茂モ好ク、一寸見渡シタ處デモ、ひめはひほらごけ、はひほらごけ、うちはごけ、きじのを、おほきじのを、のきしのぶ、くりはらん、やのねしだ、みつでうらぼし、とうごくしだ、こばのかなわらび、かなわらび、のこぎりしば、ふもとしだ、こもちしだ、おにやぶそてつ、へらしだ、みぞしだ、ゐので、じふもんじしだ等々中々羊齒類ガ多イ。



私ハ先＝田川基二理學士ガ、「植物分類地理」第一卷第一號＝竹內敬氏ノ丹波國長老嶽＝採集サレタじふもんじしだノ一型＝ *Polystichum*

tripteron var. *simplicissimum* TAGAWA ト名付ケテ發表セラレテ以來、注意シテ來テ居タノデアツタガ、圖ラズモ同變種ヲ此ノ地ニ一株得ルコトガ出來タ。寫眞ニ見ラルヽ通リ、最下羽片ガ非常ニ縮少シテヰル。

田川理學士ヨリノ來信ニ依レバ、本變種ノ產地ハ此レ迄二ケ所シカ知ラレテ居ナカツタガ、之デ三ケ所トナツタ。然シじふもんじしだノ存ル所ニハ、廣ク分布スルモノデアラフト述ベテ居ラレル。今以上三ケ所ノ產地ヲ擧ゲレバ丹波國長老嶽、近江國、出雲國岩屋寺（八束郡）デアル。

此ノ標本ハ Herb. Minoru Hayashi no. 2244 トシテ、私ノ手許ニ保管シテ置ク。

末筆ナガラ、種々御指導ヲ仰イデ居ル田川理學士ニ對シテ感謝ノ意ヲ表スル。

みづお集（其二）

小林義雄　亘理俊次

Y. KOBAYASHI and S. WATARI : Microphotographs of lower plants (II)

11–12. **Nostoc verrucosum** VAUCHER (*Nostocaceae*)

念球藻屬ノ中デハ極メテ普通ニアル種類デアツテ、廣ク各地ニ分布シ、淡水中ノ石ノ上ニ多數ノ疣狀ノ塊ヲナシテ固着シテヰル。昨年ノ秋、天城山麓ヲ下田ヘト走ラセテ居ツタ時ノ事、丁度、淨蓮瀧ロヘ差シカヽラウトスル道ノ左側、小サナ瀧ノ落チテヰル岩面ニ一面青黑イモノガ密布シテヰルノニ氣ガ附イタ。一寸下車シテ採集シテ來タノガ之レデアル。本種ノ群體ハ幼時ハ固ク、球形又ハ半球形ヲナシテヰルガ成長スルニ隨ヒ、橫ニ擴リ徑數糎ニ及ブ。最後ニ內部ハ空虛トナリ基物ヨリ離レテ水中ニ浮游スルト書物ニ書イテアル。第 11 圖ハ群體ヲ縱斷シタモノデ、絲ハ不規則ニ走ツテヰルガ、中心ニ至ルニシタガヒ、次第ニ縱ニ並ブ。12 圖ハ更ニ擴大シタモノデ、細胞中ニアル核狀ノ點ハ、例ニヨリ Volutin Körper ヲ**メチレンブラウ**ニテ染メタモノ、大形ノ細胞ハ異質細胞デアル。　　採集地：伊豆天城山麓 (Nov. 1933)

13–14. **Dichothrix sp.** (*Rivulariaceae*)

池中ノ朽葉ノ上ニ生ジ、褐色ノ短イ房狀ヲナシ、長サ 1.5cm 程アル。一本